

有明海水産資源回復技術確立事業*

ウミタケ資源量調査

重久剛佑・佃 政則

ウミタケは、佐賀県において重要な水産資源であることから、資源量を把握するため、生息状況調査を行ったので概要を報告する。なお、一部の調査については有明海漁業実態調査で実施した。

探索面積は概ね5m²とした。

結果

ウミタケの生息は、15地点中14地点で確認された。その中でも、早津江川河口沖合の漁場造成（浚渫および盛土）を実施した地点（地点A, B, C）やその周辺（地点D, E），筑後川筋（地点M），佐賀市作濤地点（地点H）で10個/m²以上の生息を確認し、最大21.3個/m²の密度であった。白石町沖の地点（地点N, O）でも生息が確認され、最大で6.8個/m²の密度であった。全体的に当歳貝の生息が多かったが、地点D, Eでのみ1歳貝の生息が多く確認された。このことから、2023年6月に期間と隻数を限定してではあるものの、17年ぶりの漁獲再開となった。

方法

調査は、2023年3月12,14および15日に、早津江川河口沖合に造成した漁場（20×60m, 浚渫工区および盛土工区）およびその周辺（佐賀市が実施した作濤地点および盛土地点含む）、白石町沖合で過去に浚渫土を盛土して造成された漁場など計15地点でそれぞれ実施した（図1）。

それぞれの地点では、潜水士が3～5分間潜水し、目視により生息個数を計数し、その結果を基に1平方メートル当たりの生息個数を推定した。なお、潜水士による1分間の

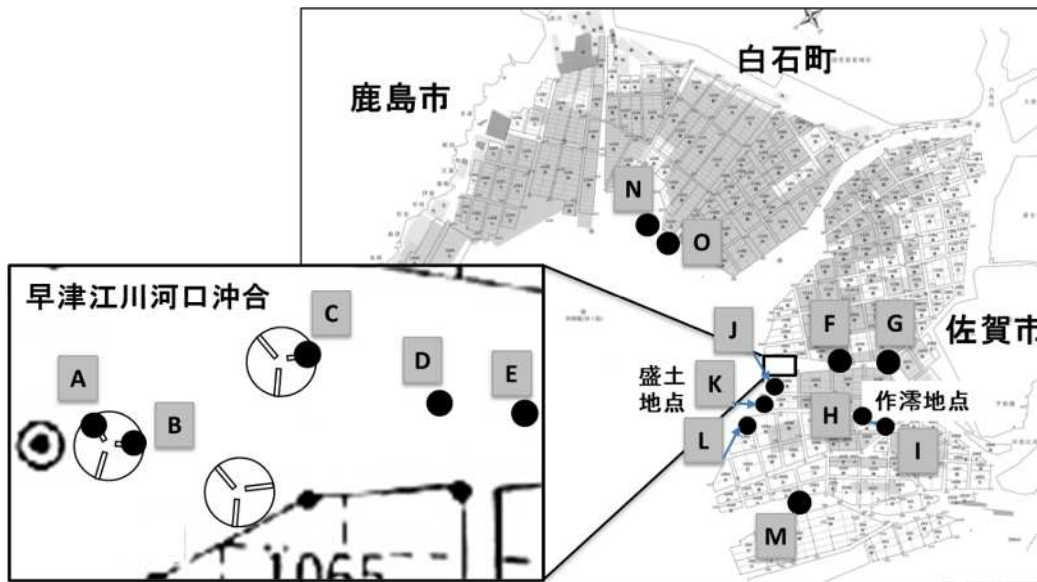


図1 調査地点

表1 各調査地点の発見個数および生息密度

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
発見個数 (個)	320	310	290	300	160	10	0	300	9	5	45	3	490	170	76
生息密度 (個/m ²)	21.3	20.7	19.3	12	16	0.4	0	20	0.6	0.2	1.8	0.1	19.6	6.8	3
備考	盛土	盛土	浚渫					作濤	作濤	盛土	盛土	盛土		盛土	盛土

*国庫補助事業名：有明海漁業振興技術開発事業